

トイレに関するこんな症状気になりませんか!? もしかして過活動性膀胱かも・・・

1.「突然、我慢できない尿意がある」



2.「トイレが近い」



3.「急にトイレに行きたくなり我慢ができず尿が漏れてしまうことがある」



◆過活動膀胱とは

上記のような尿意切迫感・頻尿・切迫性尿失禁が過活動膀胱の症状です。その原因は、脳と膀胱（尿道）を結ぶ神経のトラブルで起きる「神経因性」のものと、それ以外の原因で起きる「非神経性」のものがあります。神経因性のものには脳血管障害・パーキンソン病など脳の障害、脊髄損傷や多発性硬化症などの脊髄の障害があります。非神経性のものには前立腺肥大症（男性）、女性の加齢や出産による膀胱・子宮・尿道を支える骨盤底筋の脆弱化がありますが、原因が特定できないものや加齢によるものなども多くあります。

過活動膀胱の症状のある人は40歳以上の12.4%にもなり、その半数の人では尿漏れもあります。年齢があがるにつれて増え、80歳以上では40%位になります。

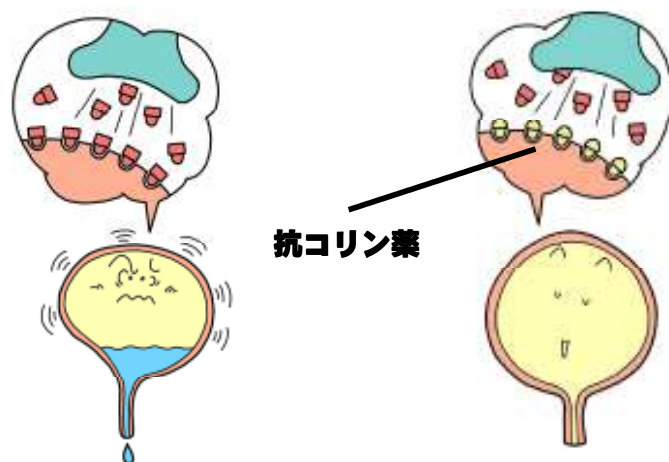
禁煙をすれば、これらの疾患のリスクが低下することがわかっています。

◆過活動膀胱の治療

抗コリン薬という、膀胱の収縮を抑える薬でよくすることができます。

口渇感、便秘、ものがかすんで見えるなどの副作用が出ることもありますが、通常はそれほどひどい症状にはなりません。

膀胱訓練（トイレを我慢して、排尿の間隔を延ばし、膀胱が尿を十分ためられる状態を取り戻す）や骨盤底筋体操（肛門や膣を繰り返して締めたり緩めたりすることで尿道を締める力を強くする運動）も、お薦めです。



※医療法人順秀会 東山内科小児科・東山健康管理センターと スカイル内科・スカイル健康管理センター 及び 星ヶ丘内科・小児科とは、診察時間が異なります。診察時間と各科専門医師の分担表を裏面に記載してあります。
※24時間対応コンピュータ予約システム（電話・インターネット・携帯電話・i-mode対応）

◆医療法人順秀会homepage： <http://www.junshu.jp>

◆健診結果・医学的内容に関するご質問は： med@junshu.jp

◆メンタルヘルスケア（心の窓）心療内科への相談は： mind@junshu.jp

◆検査予約・検査料金や医療事務に関するお問い合わせは： info@junshu.jp